夕刊　磐城新聞

三月三十日發行

定價　一部　金五錢　一ケ月　金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金　普通欄　金六拾錢　特別欄　金九拾錢（五行十二字詰一行一回）（場所指定一行拾錢增）
編輯兼印刷發行人　福島縣石城郡平町田町十六番地　[illegible]
發行所　磐城新聞社
[illegible]電略（タイライツキ）　平局私書函第十二號　電話五六[illegible]番
（日曜祭日翌日休刊）

超高速度の小說渉獵（二十）

赤井嶽男輯錄

『母性への道』

吉田百助氏作

（承前）

それは、光代との婚約を取消したいといふのであつた。

繁野としては、萬更豫期してゐなかつた事でもないし、また勝男の身になつてみれば無理もないことであると思へるだけに、左程驚きもしなかつた。

しかし、妹の鈴江にとつては思ひがけない言葉であつた。

『御兄様……』

鈴江は泣いてゐた。

『御兄様後生です、もう一ペン考へて下さい、鈴の御願ひです……ね……』

默々としてゐる勝男の膝に手を置いて哀願した。

『鈴ちやん……僕は濟まないと思つてゐるよ……姉さんはあの通りなんだから、僕が、かういつたからつてけつしてなんとも思やしないよ。むしろ、さば〳〵した位に思つてゐるだらう、僕にしても、姉さんに對して今迄の約束を取消すことは少しも悪いとなんか思つてやしない、だけどね、鈴ちやん』

勝男もしらず〳〵目頭の熱くなるのを感じつつ、自分の膝に顔を伏せて嗚咽してゐる鈴江の背を優しくなでながらいつた……。

『姉さんに對しては、お互のことだぐらゐにしか思つていないけど、鈴ちやんや阿母さんには、なんといつて良いか……なんとお詫して良いかわからないんだ……』

『いゝえ……』

繁野は、夫を否定していつた。

『お詫はむしろわたくしの方からいはなければならないのです……あの子の行爲に對して母としての責任を問はれたらば、わたくしはなんど御詫をして良いかわからないのです……』

『母としての責任は充分だと思ひます、年老た母の手を振り切つて行く子を、引戻し押し止める……爭つてまで、とめるといふことは阿母さんには無理なことだと思ひます……』

『しかし世間は決してさうは許しては呉れません、母としてのわたしは、あの子と共に責られねばなりません……』

『それは際り慘酷です……母は無限の責任を子に對して持たなければならないでせうか……』

『わたくしはさう思ひます母はその子を見守つてゐねばなりません、子の誤ちは親の不注意だと思ひます』

勝男はなんといつて好いかわからなかつた。

これ程迄に子を思ふ母……母としての責任を思ふ母の前に……その子の罪を數へたてることは出來なくなつてしまつた。

『阿母さん、もう僕は何事も申上げません、今迄のことを奇麗に諦めませう……とたゞこれだけ申上げるだけです……』

冬の海

春岡芳雄

父あにの歸るさみんと今
日も亦　漁夫の子あまた
海べへと行く。

父兄を迎へん子等のその
ほゝに　浮ぶ笑の　晴れ
やかさよ。

かまびすし　舟をばつけ
し海岸に　漁夫はえもの
をかぞへるの聲

3月30日

△村田銃發明（明治一三）△ナポレオン一世廢立巴里落城（紀一、八一四）△コンステーブル歿す、英國山水畫の大家その作今に傳はりて大に賞せらる（紀一、八三七）△大槻磐水歿す仙臺藩の儒者兼て蘭學と醫學に通曉せる名家也、著述三百卷ありその內『蘭學階梯』『環海異聞』は有名である（文化一〇）△大品經二十八卷開板（正中二）△女傑ヂヤンダーク火刑（西一、四三一）△北清事變起る（明治三三）

禪

ラヂオ

……卅一日（火曜）……

仙臺　JOHK

△前六、〇〇　七、三〇B　ラヂオ體操
△六、〇〇A　氣象通報
△九、〇五　經濟市況
△九、一〇　ローカル　料理　一、ウド汁の天の木の芽合　二、鰊の北海漬　佐藤三樹發表
日用品値段
△九、三〇　一〇、二〇A　經濟市況
△一〇、三〇　一一、〇〇　ローカル　家庭講座（春先に起り易い眼病に就て）半澤正二郎
△一一、四〇A　經濟市況
△正午　時報
△後〇、一五　〇、四〇A　湯淺（予女迎）中村きよ天
△〇、四〇A　全國ニユース
ニユース　氣象通報　告知事項
△一、〇〇　一、五〇A　經濟市況
△二、〇〇　二、三〇A　家庭講座（三味線のお稽古第十講）杵家彌七
△二、三〇A　經濟市況
△三、四〇　氣象通報
△三、五〇　經濟市況
△四、〇〇A　全國ニユース
ニユース
△五、三〇A　經濟市況
△五、四五　今晩の番組豫告
△六、〇〇　六、三〇F（子供の時間）お話（牡蠣）テキスト一四ページ　廣島縣水產試驗場長牧野謙二
△六、三〇　七、〇〇A　最新自然科學講座（ヴイタミンの話第一講）醫學博士永山武夫
△七、〇〇A　全國ニユース（官廳ニユースを含む）
ニユース　氣象通報　告知事項　番組豫告
△七、二五　八、三五B　放送喜劇（た乳）場景…大阪郊外のある失業者の家　曾我廼家五郎一座
△八、三五　九、三八B　芦邊踊（大楠公六百年祭楠のかほり）南地藝妓連
△九、四〇A　時報　全國ニユース　氣象通報　番組豫告　告知事項

春山無伴獨相求
伐木丁丁山更幽

講談

元祿名妓傳

小邑井小巴演

（宮野恒彥畫）

三十四席

彌左衛門から海賊の話しを聞かされ、善兵衛縁喜が悪いとは思つたが、一應旅立のことを話せば他に用は無い、是より直様東海道をのぼる、日を經て伊豆へ乘込む、あま城越ゑまでは格別申上げるようなことはない、全體ならば東海道を行かず、船路の方が便利で早いが善兵衛態々陸路を取つたのは、お房が陸路を行つたものと思つたからで、途中を方々尋ね〳〵やつて來る、東海道三島の宿から左へ切れ、大仁、湯島夫れからあま城越えをして、梨本下田と行くが順路、あま城の頂上へ來たのが只今の午後三時、其頃の八ッでございます、其處に一けんの茶店があるよしずを張廻し腰掛を置いて、あめ菓子を賣り茶を出してゆき來の人を休息させる　善『御免よ』○『お掛けなさいまし』善『茶を一ッ呉んな』○『お菓子は……』善『何でも少し出してお呉れ、茶菓子まで閊くとは田舍だな。』名物天門だうの砂糖づけで茶を飲みながら、四方の景色を眺めてゐる、少し離れたところに、二人連れの男一人は馬子、一人は職人体、何うもト妙な取合せだが、懇意な間柄と見えて、頻りに何か話しをして居ります△『フン〳〵其の女と云ふのは、十七八で細面の美しい娘ぢやねえか』七『そうよ、よく知つてるな、あの位な玉は下田の茶屋小屋を片ッ端から探し廻つても見當らねだらう、江戸ものだそうだが、眼を泣きはらして引ずられながら行つた』△『どうも似た話しだなア、俺も五六日前に、然うした娘つ子を一人乘せた江戸本町のものだと云つたが、酒ヨの代りに赤い色の玉の付いた、かんざしを呉れた』七『夫りや豪勢な仕事だつた、赤い色の玉と云やァ大方さんごだらう、さんごの付いたものなら金足れに違ひねへ、持つて居るなら見せなせへ』△『持つちやゐねへだ、下田のおいろの阿魔ッ子に見せたら、是非呉れとな……德利二本と取替へにしてしまつた』七『詰らねことをしたもんだあの娘つ子のさしてゐたものなら、三兩や五兩出る品だ、たいろにのろくなつてゐるから、そんな眞ねをしたのだらうが、惜いことをした』傍で聞くともなしに善兵衛此の話しを聞いた、お房を尋ねる身には、其娘をおふさだと思ふのも當然　善『モシ〳〵お前さん方』△『何だね、馬に乘つて呉るだか、下田へ歸り馬だ、安〳〵して置く乘つて下せへ！』○『イヤ馬ではない、今お前さん方が話しをして居た娘のことだが其娘は十八九、江戸本町のもの、それに違ひないですかね』△『ハア俺の馬に乘りなすつたのは其とほりだ』善『それは何時のことだね』△『乘せたのは五六日前だが、今日此の七藏が見たてえことだがね、ナア其の娘だらう！』七『お前のいふ娘か、それでねへかは分らねへが俺も見たんだ』此の馬方と職人は、あま城越えを中心に夜稼ぎ追落しを働く小賊であつた、斯樣な風態で街道に出沒し、旅人をおびく奴等、善兵衛彌左衛門から賊のことをいましめられたことも忘れ、的切りそれと思ふから乘氣になり　善『其娘が引づられて行つたと云へなさつたが、どうなつたのでございますか』七『それは確かに山ぞくにされて行かれたものだ』善『だえゝッ山ぞくに……』七『何も然う驚くことはねへ、山賊よりは海賊の方が恐ろしい、此の下田の沖にも、時々其船が來てそこらを荒すャ最ういつもの繁昌も、夫がために闇の様になつてゐる、夫れから見ると山賊はドレ程のこともないのだ！』善『其の山賊が娘を連れて行つてどうしますか』七『夫から先のことも知つてゐるか、最う遊び過ぎた八公ソレ〳〵出掛けようせ！』善『あ若しお前さん方の建前は私が持つ、どうか其娘の話しを、くわしく聞かしてお呉んなさい』

時代警句（道逸）

○既に自信自持あり、獨立獨行の精神ありそこからして自反自責自ら反省し自ら譴責し先づ己れを責める、人の額上の蠅を笑ふ前に先づ己れの頰邊の飯粒を拂ふ、先づ己れの短を除いて置いてから人の短に及ぶと云ふ精神を生ずるのである……（通俗倫理談）

※明日の吉凶※

舊暦二月三十日　新暦三月卅一日

▲一白の人　外事に携はれば辛勞を增す內に在るが安全▲二黑の人　事の志しと反する日爭論訴訟旅行普請皆凶▲三碧の人　辛抱すればする程効績の揚がる日開店企業吉▲四綠の人　思ふ事順調に運び行く日熱心は成就する基▲五黄の人　聲を耳にすれども手に取り難き齟齬ある日▲六白の人　蒔きたる種も丹精第一と倦まず撓まぬが吉▲七赤の人　思ひ立ちて早きに宜ろし猶豫すれば形なし▲八白の人　因循姑息は何にもならず根底より改良吉▲九紫の人　外に出で活動するが得策內居は過ちある日

四倉通信

□□□□□

大倉裁縫卒業式　四倉町大倉裁縫女學校第二回卒業證書授與式は今二十八日擧行したが卒業生は左記十四名である

○優等生◎無欠席

○片寄フミ、賀澤スミ、○草野春子、酒井花子、渡邊ヤス子、大樂節子、佐藤セイ子、○鎌田はる根本フヨ、鈴木ナヨ、◎門馬ヨシエ、根本アイ子、○門馬ミチ子、賀澤カス子、

尙同校では五十名の本科新入生を募集すると

□□□□□

水產商業入學試驗　四倉町立實踐水產商業學校入學試驗は來三十日午前八時より執行する

□□□□□

構內設備改善　四倉驛に於ては過般來二階堂驛長の設計に係る徒線式荷物の積降し施設工事中の處此程完成した

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

成田山大護摩修行
團体募集
一、四月四日（土曜日）午前七時五分平發
　　五日（日曜日）午前成田解散
一、會費　金八圓五十錢也
但片道汽車賃、車中晝食費、成田宿泊及茶代祝儀、大護摩修行費、箱札代、一等坊入料及祝儀、其他解散迄ノ諸費一切ヲ含ム
◎本年ハ開講十周年ニ當リ種々準備ノ都合モアリマスカラ三十日迄ニ御申込ヲ願上マス。
三月吉日
成田山大新榮講平講中
講元　井上貞治郎
平、五丁目

夜間診療
胃腸　內科　十二指腸蟲病　專門
黴毒　淋病　皮膚病　婦人病　專門
內科部　外科部
松村胃腸性病科醫院
（平南町電話一〇七番）

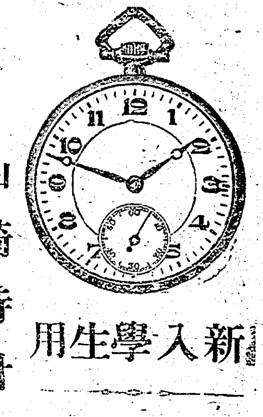
小店員募集
尋常科六學年卒業又ハ高等科二學年卒業ノ方五六名募集致シタキニ付御希望者御來談願マス
平町
三井呉服店
電話三八番　二二八四

外科
內臟外科　整形外科　外科一般
醫學士　松永憲一
平新川町十九
木村病院
◇產婦人科院長從前通り診療

貸地
小名濱商事株式會社
平出張所
電話六〇三　五四一番

內臟外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四三六番）
安齊外科醫院
看護婦募集

新入學生用
腕時計特賣
山崎時計店
平町五丁目　新川町通り



X光線
外科專門
入院隨意（自炊の便あり）
平南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋　和洋銅物
釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番　九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり

白熱的斷然大安賣
男女學生カバン　一等品　金二十五錢
男女學生手提　一等品　金五十錢
牛革製ランドセル　一等品　金二圓廿錢
日本一のカテイカメラ　附屬一揃　金五十錢
同　特等品　金九十錢
六吋ゴムマリ　金二十五錢
特ニ學生カバン類ハ製造元ヨリ直接大量ニ仕入シ爲メ市價ヨリ約三割安ニ御願申上ラレマス其他大小玩具諸糸類何品ニヨラズ此際利益度外ノ大安賣
平町二丁目
森下商店
商號（豆屋）

吉田眼科病院
平町紺屋町

福島縣清酒品評會
たひら正宗　一等　受領
花春　同　優等賞　受領
特賣!!!
醬油醸元造
鹽屋
山崎合名會社
（電話一〇番）

月曜論壇

悼比佐孝子刀自

代議士比佐昌平君北堂孝子刀自。今や東岱の雲深き邊り溘焉として未來永劫に不歸の客となつた、痛惜哀悼の極みである。憶ふに夙くして一家の柱石を喪つた刀自は孤鴛雛を守る事多年眞に典型的の賢夫人として終始一貫所謂慘風悲雨の人生に處し身を修め家を齊へ殊に織手よく子女の敎養に精進し造次顚沛その人格完成を以て生命とし既に大正十三年以來男昌平君をして名譽ある國家の選良たらしめたるが如き寔に現代婦人の龜鑑として鄕黨後進の崇敬を一身に鍾めたる所以であらねばならない。

刀自既に人生行路の難險を征服して春秋玆に六十有八年、其壽漸く古來稀なるに近く而も所謂功成り名遂げて悠々自適白雲去來の晩年を娛みつつ百歲の壽亦之を長しとせざるものあるの時突如その長逝に會ふ、世は將に駘蕩の春ならんとして蓋し何等の銷魂事であらうか。然りと雖も刀自生前の奮闘努力は眞に生きたる敎訓として刀自を識るもの悉く之を百世子孫に傳へ永くその德を景慕愛敬して措かざらしむるものがあるであらう。觀よ昨廿九日を以て營まれたる送葬の盛なりし事よ宰相顯官其他から贈られたる多くの花輪。道を埋むる會葬者と之の盛葬を觀んとして犇めく群衆。煕々たる春光の下に現出されたる七彩の美觀と沸り返る人の渦卷とは蓋し同町空前の賑ひであつて、隊伍蕭然文字通り名を竹帛に垂れて靜かに行進するの光景は宛として感激そのものを盛つた一幅の畫圖であつた。婦德の人心に反映する處夫れ偉く大なるものあるを。刀自また瞑すべきである。玆に旣往七十年間に亘る而も極めて充實されたる刀自の全生涯を顧みその生前の婦德を讃美し虔んで弔詞とする。一世の儀表たるべき賢夫人の長逝に對して奚んぞ所謂政黨的偏見の介在をゆるさんや。吾人はそれ等の一切より超越して衷心その長逝を悼まざるを得ない

卯月近く

薔薇いろに霞む宵を甘きメロデーの流れ

本社後援湯本音樂協會演奏會

今夕六時半からマルトモで

湯本音樂協會主催本社後援のマンドリンオーケストラ演奏會は今三十日午後六時半から平町マルトモホールに於て高木正己氏司會小川忠夫氏指揮の下に開催さるゝがプログラム次の如し

第一部（七時）

一、マンドリンオーケストラ…圓舞曲（ドナウ河の漣）……イヴアノヴイツチ作

二、マンドリンオーケストラ…幻想組曲（田園の祭）……ジユリアン作　1前奏曲　2農夫の合唱　3牧歌の思出　4田舍風の踊

三、ヴアイオリン四重奏…イ、子守歌（シユーマン作）ロ、小犬の踊（シヨパン作）第一ヴアイオリン後藤靜夫、第二青木義高、ビオラ九頭見周助、チエルロ齋藤直治

四、マンドリン獨奏…（タランテラ）……スカラ作　小野君平、ギター伴奏小野保

五、マンドリンオーケストラ…歌劇（ツアンパ序曲）……ハロルド作、マルチエル編

第二部（八時半）

一、マンドリンオーケストラ…序曲（夢路を辿りて）……マキオツキ作

二、マンドリンオーケストラ…小夜曲（スペインの美風）……スティマン作

三、マンドリン四重奏…舞踊風行進曲（ザルトリ作）第一マンドリン山川忠夫第二小野君平、マンドラ小野榮、ギター小野保

四、マンドリン獨奏　イ、悲しき牧歌（シモネ作）ロ、スペイン風行進曲…（コーレット作）山川忠夫　ギター伴奏九頭見周助

五、マンドリンオーケストラ…歌劇（バグダットの酋長序曲）……ボアルデイウ作、マキオツキ編

平商。磐女合格者

平商は昨二十九日磐女は今三十日何れも入學試驗の結果を發表されたが合格者は左の如くである

平商成績順磐女は受驗番號順

平商業學校

根本輝雄、長谷川淸、根本健兒、內海貢、金成英保、阿部惣太郎、伴正一佐藤良吉、小野崎義己、渡邊功、岡田彥太郎、豐田松之助、高田勇、伊藤傳一郎、久保木武雄、赤津七郎、鈴木敬三、廣木茂、深谷敬德、長瀨梅雄矢鄕泰、關兼藏、森林一永久保繁光、草野菊次、永山喜一、渡邊正平、小川忠良、酒井弘道、鈴木光、荒川昇、木田貴一郎岡部孝平、猪狩和雄、久野秀三郎、牛久諸太郎、梅原三郎、竹田秀太郎、岩佐正治、木村府衛、千葉正雄、渡邊良一、粥塚淸、永山仁一、大高正己勝倉武男、白井敏、遠藤貢、荒川豐一、青木賢太郎、白土松美、千葉忠雄本田幸一、草野菊雄、渡邊幸吉、猪狩堯春、佐々木隆男、齋藤一夫、本間充、蘭部喜德、新妻一、長瀨十郎、小松喜一、阿部敬二、角田榮宏、庄司經太郎、渡邊勝美、大方敬雄、金成誠一郎、高木隆、武子功、高木隆太郎四家春喜、管野正、阿久津勳、小野淸正、鈴木道弘、中村鼎、鈴木次良、先崎利雄、合田博親、中島新之助、大和田信明、小林政男、青木安雄、後藤新平、西川貞夫、神谷忠男、勝沼正直、森下良雄、木村久壽、大森玉彥船生健吉、國井勝英、長谷川喜久、荒義男、西協幸一、小野武平、齋藤啓一、若松一郎、佐藤昌一會川淸美、船生忠一、秋山功、高橋芳雄、中野秀明、志賀秀雄、根本貞義宇佐美重一、鈴木萬次郎鈴木克治、鳥越巖（以上百十二名）

磐城高女校

大原君子、松本タケ子、五十嵐錦子、中井ミネ子磯目ミヨ、高木キミ子、佐久間キミ、金成靜枝、齋藤キン子、樋口君子、加藤サタ、荒木チヨ、長谷川シヅ子、吉村淸子、鈴木ハツヱ、安部榮子、西內キヌ子、太タカ、飯田かつ、寺島ミツ、長谷川タ子、唐糸ナミ、加藤むつ、高木シメ、赤塚チヨ子、小野みつ江、廣田ミヨ、瓜田久子、新妻美惠子、安藤千惠子、吉成幸子、金成サク、吉田倫子、澤チヱ、野口しげ子、宇佐美美世子、宇南山正子、佐藤勝江、齋藤幸子岡田澄、鈴木シゲ子、山野邊フミ、藁谷タケ、松浦みき、大樂明、上遠野ミサオ、蛭田ミトリ、木村明、永山アヤ子、作山文子、安島ステヲ、白土君子、石井久伊、塚本イク、田口喜久、玉橋房子面川アサ、鈴木朝子、横內和、木村京子、辰野ね子、伊東好子、小林久子新妻美枝、田名網キミ、鈴木サタ、加藤ミヨ子、白土智惠子、菊池姬子、會田文江、芳賀キヨ子、神谷敬子、鈴木靜子、江尻ノブ、宮下とき、中山アサ、猪狩幸子、青木ミヨ、松崎恒子、志賀照子芳賀靜、佐川レン、松本光子、高岡サク、矢部ヒデ、佐伯ジユン、鶴田文子、山田智子、大高綾子石井ヨシ、生田登志子、本田美代、小野孝子、只野トシ、打岡キヌ、有坂敏子、佐藤美代子、小野サト、小高良子、伊藤キミヱ、馬目ヤス子、鈴木タカ子、長谷川サダ、河野イチ、石川くに子、田崎富美子、高秋稔子、志賀幸子、渡邊トキ子、村岡文枝、澤口かおる、宗像ハツ、星野千代、志賀吉、鷲イソ子、菅波カネ明智芳子、市原君江、熊澤岩子、草野起子、田村十女、折笠浦子、渡邊ミサ、石澤サワ子、作山久子、渡邊サタ、鈴木禮子四家久子、鈴木ウメ子、江尻惠美子、正木キミ、高野喜代、大田部サタ、小野ユワ、豐田トシ、根本和子、渡邊キミ子、石島トミ、緒形敬子、田村タキ、渡邊コト、吉野ヒサ子、鈴木賀子、三瓶タカ、山野邊松子、增井マサ、本庄はま子、高柳美津子、野村智子、大須賀キシ、弓野マス、坂本淸子、志賀美都子、酒井ミサ子、樽石ハナ、鈴木光松本成子、陰井雅子、芹澤藤子、遠藤やよひ、木田皖子、志賀千代、齋藤ハル、西山禎子、山形朝子、鈴木英子、木村良子國井キヨ、遠山セン、小林文子、蓬來和子、佐藤富士子、柏原和子、大塚久江、新妻サタ、大島幸子、鈴木ナツ、安齋泰、白土登美、中山カズ子、增子千枝子、海老澤と志山內タカ、橋ヒサ、橋本操、橋本節、江尻浩子、田府田リウ子、坂本綾子金成ミヤ、小檜山フミ、山田中世、安藤イナ、土居瑞枝、阿部綾子、鈴木力子、中野雅子、吉田登志、木村マサ、藤田貞子

投稿　寄書歡迎

申告書の價値

◇年々繰返される入學試驗について申告書といふものがある、その申告書なるものが入學決否に關してどれ程の重要性があるだらうか。各個人の性能、その他の記入は恐らく千篇一律申合せたやうな奇觀を呈してゐるであらう。

◇申告書が單なる點數の記錄表であるとせば勢ひ出身校の農村と市街地、設備、敎師等々の問題よりむしろ採點と席次の問題であらう。秀才揃ひにおけると『ドングリの背くらべ』における首席とを同一に論ずる事は少し穩當を欠く。

◇この不統一な事實も結局募集當局者の主觀的判斷――信ずるか否かを待つより外はない。そしてこれは最後の審判である。志願者より遙かに多い競爭率を以て殺到する學校の當局者は、集まつた申告書を一片の願書と見るより外はないだらう。

◇申告書が關門通過の唯一のパスポート視さるるならば、卒業當時不幸にして下位にあつた子供達は、入學といふものに關する限り彼等の運命の幾分の一か左右される、あへて凡才支持ではないが、試驗の弊害を認めない譯にはゆかぬ、だが、おみくじ式の抽籤では秀才が泣く。

◇統一された同一の條件と事情の下においてこそ、眞の試驗の意義がある。實質その內容は嚴然たる一點を爭ふ選拔試驗である。

◇幼き受驗生達は數年間努力結晶の成績記錄表よりも、試驗場裡の三四時間の決戰が物いふ事を熟知してゐる。申告書の價値低下といふ事よりも、それが合格に何の影響なしとさへいはれる事は事實から遠くない

（IK生）

電話に忙殺された今午前中の本社

貼り出し後は人で埋る

高女合格者發表情景

縣下第一の受驗難たる磐城高女の合格者は別項の如く今三十日午前中發表されたが之より先逸早く合格者の氏名が本社前に貼り出される恆例を知つて居る讀者其の他は早朝來あとからあとから發表時刻を問ひ合せ來る爲本社では問合せ電話の應接に忙殺されたが愈々貼り出されんとする頃から各方面から押し寄せた人の波は忽ち本社前を埋め喧々囂々悲喜交々の情景は午後三時頃まで續いた

平署員異動

特高刑事部長
福島へ　菊地喜平
同　刑事
原町へ　西關登
司法係刑事
富岡へ　瀨谷義則
巡査部長
福島へ　阿部市治

尙ほ後任として喜多方特高部長川島和吉、原の町司法刑事菊地啓次、桑折巡査部長、佐々木良七諸氏來任すると

水害工事入札

藤原川堤防水害工事の入札は今三十日午前十一時から

淪落の姥櫻が病苦の厭世自殺

小川地內の轢死体

大体素性の目星つく

小川村大字上小川字牛小川大瀧磐城街道踏切地內に於て昨二十九日午前八時半頃三十五六歲位な婦人が轢死してゐるのを線路工夫が發見小野新町署に屆出でたが他殺らしい風評もあつたので平署から部長、刑事數名出張取調べた處朝日二個だけで身元を知るべき遺留品とてもなく檢死の結果惡性の性病にくさされてゐることが判明前日なる二十八日午前七時頃附近を泥醉徘徊した點からして疾患を悲觀し厭世自殺をしたものらしく一先づ小川村役場で假埋葬に附した

一兩二分で四人を告訴

舊い當直日記から春のトピック

靜岡縣三島警察署特高係瀧部長が二十七日夜書類整理中明治二十六年十二月二十四日同署員山崎某の當宿日記に『平町六二〇士族大野四郎(三四)が三島町貸座敷業梅川忠兵衞方に登樓梅川の妻むら並に藝妓柳太郎外二人を連れ劇場公盛座で手品見物中側に置いた一圓五十錢在中の財布が紛失した處から前記むら外四名の藝妓を告訴』した事實が記載されてあるのを發見。春のトピックとして聞く人の興味を喚つてゐる

比佐。谷口兩家盛葬

人で埋つた昨日の湯本町ごけふ平で天理敎神式の盛儀

比佐代議士北堂こう子刀自の葬儀は既報の如く昨二十九日午後三時湯本町の自宅出棺勝行院に於て導師楠正隆師以下十四名の僧侶により執行されたが各大臣をはじめ各方面から贈られた多數の花輪その他同町空前の盛葬を見んとする人達で朝來の混雜甚しく遠近多數の會葬者に之等の人が加はり出棺間際には殆ど身動きならぬ有樣であつた、濱口首相以下百七十八通の弔電小柳知事外三十一名の弔詞朗讀あり五時式を閉ぢた、▲また平町谷口仁太郎氏の葬儀は今三十日午後一時から天理敎墓地に於て神式により執行されたが之亦生前各方面に極めて廣い關係を有してゐた德望家であつたゞけ會葬者頗る多く多數花輪放鳥生花等で地方稀に見る盛葬であつた

吉川橋改修

二萬圓で起工

泉村小名濱間吉川橋（延長六十間）の改修は此程平土木監督所の設計が完成したので近く着工するが工費は約二萬圓であると

ロロロロ醉て暴れるロロロロ

檢束の上放還

平町鎌田町金成塵芥屋使用人高木駒之助(三七)は昨二十九日午後九時頃泥醉し南町料理屋浪花家事中藤澤リン方で暴れ廻り硝子三枚を破壞し、處を巡廻中の平署員に檢束され今三十日說諭の上放還されたと

風呂の中で溺死

哀れ十九の癲癇娘

平町鍛冶町藝妓屋玉川方女中同町四丁目一七はま四女石川あい(一九)は今三十日午前十一時頃主家湯殿に於て入浴中持病の癲癇で打ち倒れ浴槽中で溺死した

小川校同窓會

小川村小學校同窓會は二日午後二時から開催了すと

ロロロロロ平町に赤痢發生ロロロロロ

平町舊城跡下鐵道官舍二十五號高澤壽廣長女ハツヱ(三)同二女(三)ユキ同三女トシ(六)の三名は何れも昨二十九日赤痢と判明し隔離した

佐藤藤助氏逝く

平町材木商佐藤々助氏は今曉一時東京の出張先に於て胃潰瘍の爲長逝悲報に接した近親は直に上京したが葬儀日取り等決定の上報道する

赤井嵐

◇『醉ふて益々盛んなり』と評判の高い某料理店のおかみが、キネマの灯りまばゆい宵の街を、地震にあつた八百屋ぢやあるまいに、蓮根やウドをうんと背負ひ込んで、通りがゝりの人にブッ突かりながら何か唄つて歩く上機嫌であつた◇處が相手構はず男の手を引ッ張つて『サア一所に飲みに行かう』に大の男も逃げ出す騷ぎだ、それでも○△の脇から××に這入りこんだ姿は二人であつたとサ『酒飲めばイツも心が春めきて』といふから、春は德利からか……。！

○……○

平町田町
高久病院（電話五一三番）
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽淸
藥劑士　佐竹菊雄
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ
生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥店　おはなし三番

貸切の御用命は？
獅子吼（シシク）（四四九）の勢（イキホイ）で
眞先（マツサキ）に（マツサキ）
三九二（ミクニ）タクシーへ

父鈴木平吉儀病氣の處療養不相叶本日午後一時死去仕候間此段謹告仕候
追て葬儀は來る四月一日午後二時平町田町鈴木ゞ三郎宅出棺良善寺に於て佛葬相營み申候
昭和六年三月二十九日
在東京
喪主　鈴木增平
男　馬目雄次郎
男　鈴木條三郎
男　鈴木弘一

母コウ儀死去に際しては深厚なる御同情を賜り且態々御會葬被成下眞に難有不取敢紙上を以て厚く御禮申上候
昭和六年三月二十九日
石城郡湯本町
男　比佐昌平

父仁太郎送葬の際は態々御臨弔を辱ふし難有奉拜謝候乍略儀不取敢以紙上御厚禮申述候　敬具
昭和六年三月三十日
男　谷口長治